

【教材・教具名】 述語かるた	【教科・領域】 国語
【教材の使用材料】  <p>A 主語 札 表 裏 B 述語 札 表 裏</p> <p>・紙 ラーミネートシート PC 筆記具</p>	【購入場所】
【ねらい】 <ul style="list-style-type: none"> ・（主語、述語で構成された）二語文の理解と使用 ・簡単な文章を読んで、理解し行動化する。 	
○使用方法 <ol style="list-style-type: none"> ①かるたとして、使用する。 <ul style="list-style-type: none"> ○慣れるまでは、読み札は A 主語札がよい。 ○慣れてきたら、逆転して B 述語札を読み札とするのもおもしろい。 ○分からない（言葉としてなじみがない）ときは、読み札も取り札も裏のイラスト面を使用しながら、あくまでも言葉を聞いた上で取るようにする。 ②机を二つ用意して、A 主語札の群 と B 述語札の群を作り マッチングをするというゲームもある。組み合わせられたら 「傘を」「さす」とった本人が読むようにする。 ③さらに具体物を教室内に用意し（例の場合、傘）正解の組み合わせができたあと、具体物を探させ、行動化させる（動作ゲーム）をするのもおもしろい。 ○工夫した所 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活でよく使う（生徒もよく耳にする）、述語（動詞）をたくさん選んだ。 ○今後工夫したい所 <ul style="list-style-type: none"> ・主語札の助詞を シール式にして、助詞を簡単に変更できるようにする。 ・主語札に対して、述語札が複数という例も作りたい。（「窓を」→「あける」「しめる」） 	
○効果 かるた遊び感覚で、楽しく特に動詞、文としての組み合わせを覚えることができた。	
○参考文献・URL	

教材・教具写真

